

どんぐり村の  
**こみ・すく通信**  
令和 7年 2月 10日発行 令和6年度 第20号  
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

## みんなの学校応援団の活動を紹介<その14>

### 議会訪問

中央中3年生  
活性化策発表！

12月19日、更別中央中3年生が社会科で更別村の議場を訪問しました。議会事務局の佐藤さんから村議会の仕組み等を説明いただき、その後、村議会議員の方々と意見交換を行いました。



生徒からは、各グループに分かれてテーマ別の更別村の活性化案、活性化するための課題、そしてその課題を解決する方法について中学生らしい観点で提案されました。その提案について現状等もふまえ各議員からコメントしていただきました。



中学生の真剣な発表

最後に議員の方から「村の将来をしっかりと見据えて、村を活性化させたいという生徒さんの思い、若い純粋な意見が素晴らしいと思いました。」と感想を述べられていました。

#### 各グループからの発表

- A 観光スポットを増やす
- B 人を呼び込むイベント企画
- C ショッピングモールを作る
- D 人を集めるために住みたいと思える環境を作る

## おひさまの会からプレゼント

みんなの学校応援団であるおひさまの会が、12月19日に更別小学校で、23日



には上更別小学校でおはなし会を開催しました。今回クリスマス企画としてクリスマスに関わる絵本の読み聞かせとハンドベルの演奏会を開いてくれました。子どもたちは「わたしにもサンタさんが来てくれるかな」という表情で聞き入っていました。また、ハンドベルのきれいな音色にうっとりしていました。



## 認知症・福祉を学ぶ

12月17日、保健福祉課保健師の藤田さん、社会福祉士の佐々木さん、社会福祉協議会の小丹枝さんに来校いただき、中央中1年生に認知症サポーター養成講座及び福祉の授業をしていただきました。認知症は脳の病気であり、誰がなってもおかしくないことや周りの人のサポートで安心して行動できることを学びました。その後、高齢者体験・片足麻痺体験、車椅子体験をすることによって、いろいろな人の立場になって考えることができました。

